

管路防災研究所
NEURON Pipeline Resilience Laboratory

NEWS LETTER

Vol.44 2026.1

2026年 年頭所感

日本ニューロン株式会社
管路防災研究所 代表 岩本 泰一

ごあいさつ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
旧年中はいろいろとお導きをいただき、ありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



当社運営の管路防災研究所も設立から3年が経過し、おかげさまで自治体、企業、大学など、ご来訪者は累計1000名を超えるました。これもひとえにみなさま方のご支援ご協力の賜物であり、厚く御礼を申し上げます。また昨年は土木学会や地震関連学会へ4編の論文投稿をおこない、一方で产学連携、産業連携による水管橋や配水池、浄水場の管路各種試験も18件実施いたしました。
今後も管防研は「交流と共創」に拍車をかけてまいります。

〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台2-2-5
日本ニューロン株式会社
けいはんなサウスラボ
『管路防災研究所』

お問い合わせ先
info@neuron.ne.jp



想うこと、願うこと ~“適者採用”と“ライトブルー人財”~

高市政権が昨年の所信表明のなかで掲げた「令和の国土強靭化対策」は、単なる公共投資ではなく、社会インフラを再構築し、次世代へ引き継ぐ国家的プロジェクトであると受け止めています。もちろんこのいわゆる積極財政はまさに有難く、当研究所としても各企業、団体様からの要望にお応えすべく、管路防災に関する「研究基盤・性能評価体制・人財」への投資を継続・強化していく方針はすでに定めています。しかし、どれほど設備や技術が整ったとしても、それを真に利活用し、社会実装へつなげるにはまさに「人」です。少子高齢化で労働力不足が顕在化する中、ますます採用が難しくなっている世の中だからこそ、今年、私たちが最も重視したいのは、この人財の在り方に他なりません。そこで鍵となるのが「適者採用」という考え方です。人数を満たすための採用ではなく、役割と思想に適した人を迎える。そしてしっかりと育ててゆく。その延長線上に、私たちが最も希求する「ライトブルー人財」があります。現時点でも当研究所を運営する日本ニューロン株式会社にはこの「ライトブルー人財」が増えつつあります。現場に深く入り込み、汗をかくホワイトカラー。AIやDXを自在に使いこなし、課題解決に結びつけるブルーカラー。両者を分け隔てるのではなく、横断し、往復できる人財こそが、これから管路防災を支える中核になると考えています。

2026年は、ライトブルー人財の発掘と育成に本腰を入れる一年と位置づけています。当研究所を「知の集積地」にとどめるのではなく、「人が育ち、社会に還元する場」へと進化させる交流と共創の場。そのための挑戦を、関係者の皆さまと共に進めてまいります。

本年も、管路防災研究所の取り組みにご期待とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

環境条件

地盤災害
過酷環境
気候変動

Core技術

Resilientな
伸縮可撓継手
終局限界性能
確認実験技術

管路防災技術

管路系システムの
耐震・性能設計
防災
エンジニアリング